

令和7年度 環境経営レポート

対象期間：2025年5月～2026年4月



大場機工株式会社

2026年6月24日発行

目次

1. 組織の概要	P3 4
2. 対象範囲	P5
3. 環境経営方針	P6
4. 実施体制	P7
5. 役割、責任及び権限	P8
6. 環境経営目標	P9
7. 環境経営目標の実績・取組結果並びに次年度の環境経営目標	P10
8. 環境経営計画の取組結果並びに次年度の環境経営計画	P11
9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果 ならびに違反、訴訟などの有無	P12
10. その他 活動紹介	P13 14
11. 代表者による全体評価と見直し・指示	P15

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

大場機工株式会社

代表取締役 大場 正晴

(2) 所在地

本社・工場 〒418-0037 静岡県富士宮市安居山44番の8
TEL：0544-27-6066
FAX：0544-27-6214
敷地：10,500㎡
建物：2,500㎡

第2工場 〒419-0316 静岡県富士宮市羽鮒69-1
TEL：0544-65-2188
FAX：0544-65-2466
敷地：10,000㎡
建物：3,500㎡

◎本社/工場（R4.3月撮影）



◎第2工場（H29.1月撮影）



(3) 環境管理責任者、環境管理副責任者、化学物質管理責任者の氏名及び連絡先

環境管理責任者 加藤 慎也
TEL : 0544-27-6066 FAX : 0544-27-6214
E-Mail : shinya.k@ohbakiko.co.jp

環境管理副責任者 高柳 真一
E-Mail : yanagi@ohbakiko.co.jp

化学物質管理責任者 奥脇 洋
E-Mail : oku@ohbakiko.co.jp

(4) 事業の概要

ステンレス等パイプ製品の加工及びプラスチック光ファイバー製品の加工・組立・試作・販売

(5) 事業の概要

年 度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
売上高 (万円)	180,500	200,500	219,000	210,900	209,000
従業員数	120名	123名	136名	135名	139名
本 社 敷 地	10,000㎡	10,000㎡	10,000㎡	10,000㎡	10,500㎡
本 社 建 物	2,500㎡	2,500㎡	2,500㎡	2,500㎡	2,500㎡
第2工場敷地	10,000㎡	10,000㎡	10,000㎡	10,000㎡	10,000㎡
第2工場建物	3,500㎡	3,500㎡	3,500㎡	3,500㎡	3,500㎡

2. 対象範囲

(1) 認証、登録範囲

全組織、全活動、全従業員を対象とし、全社的に取り組む。

■本社・工場 〒418-0037 静岡県富士宮市安居山44番の8
→認証：2006年8月

■第2工場 〒419-0316 静岡県富士宮市羽鰯69-1
→認証：2006年8月

(2) レポートの対象期間及び発行日

環境経営レポート運用期間：2025年5月1日～2026年4月30日

環境経営レポートの発行日：2026年6月24日

3. 環境経営方針

環境理念

『事業活動が、地球環境に関わる影響を認識し、
全従業員が環境保全及び環境汚染防止に努め、より良い企業活動を行う』

基本方針

大場機工株式会社は、精密ステンレスパイプ製品、プラスチック光ファイバー製品の加工・組立技術を利用して、原材料を効率よく活用した省資源生産で新規製品を開発し社会貢献することを目指します。企業活動の中で環境保全は、経営の重要課題と捉えており、廃棄物の削減を通して環境に配慮した信頼される商品をお客様にご提供します。

1. 二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量等の削減に努めます。
 - 1) 電気、プロパンガス、ガソリン、灯油の使用量削減に努めます。
 - 2) 4 R活動を通じて廃棄物の削減に努めます。
 - 3) 節水活動による水使用量の削減に努めます。
 - 4) 化学物質使用量の適正使用に努めます。
2. 環境関連法令及びその他関連要求事項を遵守します。
3. 環境に配慮した製造活動を通じて廃棄物の削減、在庫の削減に努めます。
4. 社員の環境への啓発及び地域・社会との環境活動を通じた社会貢献に努めます。
5. 環境経営方針は全社員への周知徹底を図るとともに、ホームページ及び環境活動レポートを社外に公開することで社会とのより良いコミュニケーションを図り、継続的に改善活動実施します。

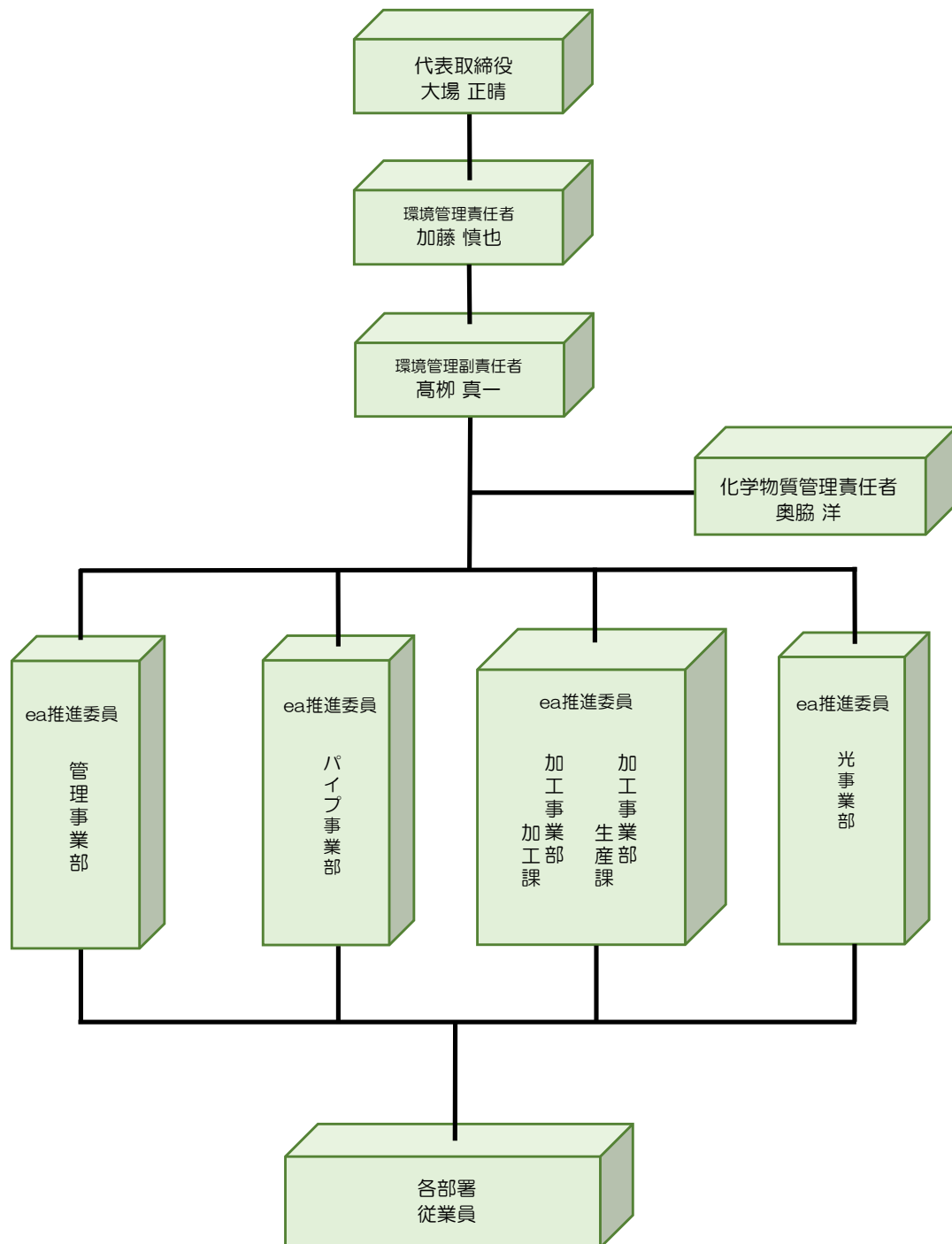
平成19年6月14日制定
令和5年8月8日改訂

大場機工株式会社

代表取締役

大場正晴

4. 実施体制



令和7年5月1日 改定

5. 役割、責任及び権限

職名	役割・責任・権限
代表者 (代表取締役)	・環境経営全般に関する責任と権限 ・環境経営に必要な資源の準備 ・環境管理責任者、環境管理副責任者の任命 ・環境経営システム全体の評価と見直し ・経営における課題とチャンスを整理し、明確にする。 ・環境経営レポートの承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施
環境管理責任者	・環境活動経営システムの全般の運用、管理 ・環境目標及び環境活動計画の作成 ・環境関連法規取りまとめ表の確認 ・環境経営レポートの確認
環境管理副責任者	・環境関連法規取りまとめ表の作成 ・各課環境目標に対する取り組みの取りまとめ ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・文書、記録の管理
化学物質管理責任者	・環境物質管理体制の実行管理
エコアクション 推進委員	・部門の環境目標、環境活動計画の実施 ・部門の問題把握と是正対策の実施 ・部門の取組状況をQMS会議で報告 ・部門の従業員教育 ・環境経営レポートの作成
その他の従業員	・自分の役割を守りエコアクション21活動を推進する。

6. 環境経営目標

活動項目	環境目標	単位	【基準年】 R3年度実績	R4年度目標	R5年度目標	R6年度目標	R7年度目標	R8年度目標
二酸化炭素 排出量	二酸化炭素排出量	kg- CO2	519,154	513,962	508,771	503,579	488,420	483,332
				1%削減	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減
	購入電力量	kwh	1,024,024	1,013,784	1,003,544	993,303	963,402	953,366
				1%削減	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減
	ガス使用量	kg	1,981	1,961	1,941	1,922	1,864	1,844
				1%削減	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減
	※ガソリン使用量	ℓ	5,381	5,327	5,273	5,220	5,062	5,010
				1%削減	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減
	灯油使用量	ℓ	8,533	8,448	8,362	8,277	8,028	7,944
				1%削減	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減
水資源 使用量	水資源使用量	m ³	12,967	12,837	12,708	12,578	12,199	12,072
				1%削減	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減
廃棄物 排出量	一般廃棄物排出量 （可燃物）	kg	4,710	4,662.90	4,615.80	4,568.70	4,431	4,385
				1%削減	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減
	産業廃棄物排出量 （廃プラスチック）	t	2,145	2.12	2.10	2.08	2.018	1.997
				1%削減	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減
	コピー用紙使用量	kg	717.5	710.3	703.2	696.0	675.0	668.0
1%削減				2%削減	3%削減	4%削減	5%削減	
製品/サービス ステンレスくずの削減		kg	19,786	19,588	19,390	19,192	18,615	18,421
				1%削減	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減
化学物質購入量		kg	34,000	33,660	33,320	32,980	31,987	31,654
				1%削減	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減

※購入電力量の二酸化炭素排出係数は、電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)―R1年度実績―R3.7.19環境省・経済産業省公表の東京電力エナジーパートナー(株)の基礎排出係数である0.457(kg-CO2kwh)を使用した。

※ガソリン購入量の基準年について
R3年度は、新型コロナウイルスの影響により購入量が減少しているため、H30年度実績を基準年とした。

7. 環境経営目標の実績・取組結果並びに次年度の環境経営目標

活動項目	環境目標	単位	【基準年】 R3年度実績	R7年度目標	R7年度実績	評価	R8年度目標
				R3年度対比	目標達成率		R3年度対比
二酸化炭素 排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	519,154	498,388	614,399	×	493,196
				4%削減	123.28%		5%削減
	購入電力量 排出係数 0.457kg-CO ₂ /kwh	kwh	1,024,024	983,063	1,256,828	×	972,823
				4%削減	127.85%		5%削減
	ガス使用量	kg	1,981	1,902	2,149	×	1,882
				4%削減	112.99%		5%削減
	※ガソリン購入量	ℓ	5,381	5,166	4,396	○	5,112
				4%削減	85.10%		5%削減
	灯油購入量	ℓ	8,533	8,192	9,384	×	8,106
				4%削減	114.55%		5%削減
水資源 使用量	水道使用量	m ³	12,967	12,448	16,410	×	12,319
				4%削減	131.83%		5%削減
廃棄物 排出量	一般廃棄物排出量 (可燃物)	kg	4,710	4,522	4,680	×	4,475
				4%削減	103.49%		5%削減
	産業廃棄物排出量 (廃プラスチック)	t	2,145	2,059	3,195	×	2,038
				4%削減	155.17%		5%削減
	コピー用紙購入量 /使用量	kg	717.5	688.8	680.0	○	681.6
				4%削減	98.72%		5%削減
製品/サービス ステンレスくずの削減		kg	19,786	18,995	30,218	×	18,797
				4%削減	159.08%		5%削減
化学薬品購入量		kg	34,000	32,640	54,000	×	32,300
				4%削減	165.44%		5%削減

【評価】

項目	原因	是正処置
CO ₂ 排出量	生産量増加に伴う設備稼働時間の増加、電力使用量増加	エア漏れ点検、不要設備停止、コンプレッサー運転見直しを継続
購入電力量	生産量増加により設備稼働時間増加	照明・空調管理、待機電力削減
ガス	生産量増加	使用量監視を継続し効率運転を実施
灯油	冬季気温低下・暖房使用増	暖房設定温度管理・使用時間短縮
水使用量	洗浄工程増加	節水活動継続・漏水点検
廃プラスチック	生産量増加・梱包材使用増	分別徹底・梱包方法見直し
可燃物	従業員増加・一般廃棄物増	分別徹底・ペーパーレス推進
ステンレスくず	生産量増加・加工数量増加	歩留り改善・加工条件見直し
化学薬品	生産量増加	使用基準遵守・必要最小限使用

※次期計画で目標値見直しを検討する。

8. 環境経営計画の取組結果並びに次年度の環境経営計画

活動項目	環境目標	R7年度各部の活動内容 評価	コメント	重点活動の実施状況と 次年度活動計画
二酸化炭素 排出量	購入電力量	■全社 省エネ機器、節電商品への切り替え検討 ○ ■管理事業部 電力使用ピークの把握 ○ ■パイプ事業部 焼酎設備の稼働率向上による電力削減 ▲	全課にて使用していない部屋の消灯など取り組みましたが、生産量増加に伴う稼働時間増加により減少には至りませんでした。	【R7年度重点活動実績】 ■加工事業部 改善提案（45件） 結果：46件 件数は達成していたが、エコアクション21に対する内容が無かった為。 × ■管理事業部 現有材の販売（276件/年） 結果：278件 ○
	ガス使用量	■加工事業部 始業前のメーター確認による使用量確認・把握 ○	毎朝担当者によるメーター確認を実施。	■パイプ事業部 合理化改善提案（技術・設備改善3件/年） 結果：0件 ×
	ガソリン使用量	■管理事業部 燃費管理 ○ 低燃費車優先使用 ○	使用時の燃費管理を行う事により、低燃費車の優先使用が可能となりました。数値目標についても達成となっている為、継続して取り組みます。	■光事業部 合理化改善提案提出(25件) 結果：10件 ×
	灯油使用量	■パイプ事業部 回収装置の使用量把握 ○ 回収装置の効率化 ○	回収装置を使用することにより、製造数増加の影響を受けにくい結果となりました。	【R8年活動計画】 ■全部署 ごみの分別徹底 古紙のリサイクル徹底 節電活動の継続 生活水の節水 クールビズの実施 清掃活動
水資源 使用量	水道使用量	■パイプ事業部 井戸水の効率的な活用 ○ ■加工事業部 水道管経路の確認 メーター確認による使用量把握 過去3年の使用量調査 ○	前提として井戸水も資源ではありますが、使用料の計測を行う事により過度な消費を抑える事が可能となっている。	【各部門の活動計画】 ■営業部/業務部 燃費管理 低燃費車優先使用 ペーパーレスの推進 現有材の販売継続 再生可能エネルギーへの転換
廃棄物 排出量	可燃物 排出量	■管理事業部 ペーパーレスの推進 ▲ ■加工事業部 梱包資材のリユース ○	コピー用紙の裏紙推奨や客先提出書類の電子化を推奨し、呼びかけを行っている。再利活用可能な梱包資材についてはリユースを徹底します。	■パイプ事業部 回収装置の使用量把握 井戸水の有効活用 歩留り向上（前年比115%）
	廃プラスチック 排出量	■加工事業部 梱包資材のリユース ○ ■光事業部 廃棄量の計測 廃棄量削減の呼び掛け ○	各課廃棄量削減に向けた取り組み(梱包資材リユース・歩留まり向上による排気物削減)を推進し削減を目指します。	■加工事業部 メーター確認による使用量把握 梱包資材のリユース 改善提案5件以上
	コピー用紙 使用量	—	コピー用紙の裏紙使用の推進していきます。書類の電子化を推奨し紙使用量の削減を目指します。	■光事業部 廃棄量の計測 廃棄量削減の呼び掛け 合理化・改善15件以上
製品/サービス ステンレスくずの削減		■管理事業部 契約電力見直し ○ ■加工事業部 歩留まり向上 ▲ ■光事業部 歩留まり向上 ▲	歩留まり向上に向けた取り組み(合理化・改善活動)を推進し廃棄物削減に努めます。	
化学物質購入量		■パイプ事業部 回収装置導入後の回収量把握 ▲	稼働増加に伴う新液購入量の増加により低減には至りませんでした。	

9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟などの有無

1. 環境関連法規等の遵守状況

環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

評価日：2026年5月1日

評価者：環境管理副責任者 高柳 真一

法令・条例等	適用内容又は規制基準値	備考	遵守状況
廃棄物処理法	保管施設の表示と保管基準の順守 収集運搬業者及び処分業者との委託契約 委託契約書の保管 マニフェストの管理 マニフェストの交付状況報告 特別管理産業廃棄物管理責任者の設置	表示板(60cm×60cm) 契約書及び許可書 保存期間：5年間 A、B2、D、E票の保管 1回/年 事業所ごとに設置	○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例第8条	産業廃棄物管理責任者の選任 産業廃棄物処理の委託先の実地確認	管理責任者：高柳真一 1回/年以上	○
騒音規制法第6条第1項 (第7条第1項) 静岡県生活環境の保全等に関する条例 第53条第1項(第54条第1項)	特定施設設置届出書	空気圧縮機	○
振動規制法第6条第1項 (第7条第1項) 静岡県生活環境の保全等に関する条例 第80条第1項(第81条第1項)	特定施設設置届出書	空気圧縮機	○
水質汚濁防止法 第5条第1項(第6条第1項)、第7条	特定施設設置届出書 廃水の水質調査	洗浄施設/蒸留施設 1回/月	○
土壌汚染対策法	有害物質使用特定施設(水濁法)の廃止届出	該当なし	○
フロン排出抑制法	設置、使用、廃棄の義務 点検の実施 漏えい量の算定、報告	簡易点検：3ヶ月に1回 (空調機器、コンプレッサー チラー、スポットクーラー) 定期点検：3年に1回 (7.5kw以上～50kw未満の空調機器)	○
労働安全衛生法	定期健康診断 特定業務従事者の健康診断 局所排気装置設置届 局所排気装置定期自主検査 作業環境測定 化学物質管理責任者 化学物質作業主任者の選任	1回/年 1回/半年 届出済 1回/年 1回/半年 本社：河村将司 第2工場：宮路修平 選任済み	○
消防法	ボイラー設備の届出 少量危険物 貯蔵の届出 防火管理責任者の選任(法第8条) 消防設備の設置届及び点検	少量危険物 貯蔵の届出 第4類 灯油 最大貯蔵数量950L 防火管理責任者：高柳真一 届出済、1回/半年	○
浄化槽法	法定検査 保守点検、清掃	1回/年 保守点検：4回/年、清掃：1回/年以上	○
PRTR法	対象物質使用量管理 SDSの管理	1回/年 —	○
公害防止組織法	公害防止統括者の選任/公害防止管理者の選任	酸又はアルカリによる表面処理施設 洗浄施設、蒸留施設、廃ガス洗浄施設	○
RoHS規制 REACH規制	顧客からの要求事項の順守	—	○
関連法規	家電リサイクル法 パソコンリサイクル法 自動車リサイクル法	家電、パソコン 社用車 エアコン、室外機	○

2. 違反訴訟等の有無

過去3年間の違反、訴訟等はありません

3. 近隣からの苦情

過去3年間の環境関連に関する近隣からの苦情はありません。

10. その他 活動紹介

●2025.10.04(土)

朝霧高原にて開催された、

【ぐるり富士山風景街道重点区間一斉清掃2025(静岡県側)】に当社エコアクション21推進委員が参加させて頂きました。当活動は世界に誇る”富士山”の美しい風景を守るため、官民で連携して道路の清掃・美化に取り組む内容となっております。



●2025.11.17(月)～11.21(金)

環自協【ごみ一斉清掃】

本社・第2工場周辺を清掃し、1週間で約90kgのごみを拾い集めました。



●社内清掃活動

毎朝、社内や会社周りの清掃活動を実施しております。



●軟式野球部活動紹介

大場機工株式会社軟式野球部は2001年に設立しました。
チームとしての歴史はまだ浅いですが、全国大会出場、
その先にある日本一という大きな目標を掲げ、日々の練習に精進し、多数の強化試合に
取り組んでおります。



～天皇賜杯第79回全国軟式野球大会ENEOSトーナメント～
全国予選を勝ち抜いた強豪56チームが集う社会人軟式野球の最高峰。
その大会で大場機工(株)軟式野球部が“全国ベスト8”を達成！



OHBAKIKO CO.,LTD.



11. 代表者による全体評価と見直し・指示

1. 代表者による全体評価・見直し指示

各製造工程の加工歩留率を上げて、消耗品等の減少を実行する。		
項目	評価	指示事項
1. 環境経営方針	来年度の環境経営方針に変更なし。	特になし。
2. 環境経営目標	目標は再検討する事。	来年度も努力する事。
3. 環境経営計画	5年計画の5年目となる。計画の変更はなし。 令和8年度も令和3年度対比で実施する。	計画通り進める事。
4. 実施体制	目標達成の為に努力する事。	特になし。
5. その他	変更の必要性	変更の指示、またはコメント記載
1) 環境関連法規	有・ ☒ 無	特になし。
2) 環境コミュニケーション	有・ ☒ 無	活動報告は毎月行うエコアクション会議及びQMS会議で発表。
3) 問題点の是正・予防処置	有・ ☒ 無	目標未達は再検討する。
4) 環境上の緊急事態への対応	有・ ☒ 無	災害訓練・薬品流出訓練を毎年実施する。

評価日：令和8年4月24日
代表取締役 大場 正晴